

自然の力に委ねて体の毒素排出を！ 砂枕

砂袋療法とは？・・・日本では昔から、「ふぐの毒に当たった人」を裸にし、土の中に首だけを出して埋めると毒が出て助かるといわれていました。ネイティブアメリカンやアボリジニも同様の方法で病気を治癒する習慣を持っていたそうです。

このように自然の力を借りて体を回復させる方法は副作用も無く、大変有効です。この土に埋まる方法をより簡単に実践できるようにと始められたのが「砂浴療法」です。

砂浴は砂浜に全身を埋めて、皮膚から汗＝毒素を出して全身の代謝を上げます。すると・・・内臓の働きが活発になり、全身から臭い汗が出たり、尿が大量に出たり、濃い鼻水が出たり・・・という反応が出た後に、全身がスッキリとして症状の回復が現れます。(砂浴は腰痛、肩こり、アトピー、癌、鬱病や婦人病など・・・あらゆる症状に有効です)

しかしながら・・・砂浴が出来るのはやはり夏場の海水浴シーズンのみ。そこで砂浴の効果を一年中、自宅でいつでも手軽に・・・という発想から生まれたのが「砂枕」です。

砂枕の使い方は？・・・使い方は簡単！敷き布団の上に砂枕を敷いて寝るだけ。または、気になる症状がある患部の上に砂枕を乗せるだけです。

椅子に座って足の裏に当てたり、太腿や肩の上に乗せたりする方法でもOKです。

冬場に、砂の冷たさが気になる場合は、コタツなどで温めてからご使用下さい。

【注意】万が一、砂枕を利用して気分が悪くなった場合は使用を一時中断しましょう。

無理し過ぎず程々に…が良い使い方です！

手間暇すこ〜く
掛けてます！

こじま施術院の「砂枕」の作り方をご紹介します

材料は・・・

砂、 塩とゲルマニウム粉少々
砂枕の布(木綿のブロード生地)
カバーの布(綿&麻の混合生地)

1・砂をふるいで選別する

大きな粒の砂や石の粒が入っていると寝心地が悪くなるので、ふるいにかけて細かい粒の砂だけを選別します。

3・天日干しをする

水洗いした砂を新聞紙の上に広げて自然乾燥させます。完全に乾くまでには2〜3日かかります。この作業で・・・太陽とお月様(陰陽)のパワーが砂に入ります。

5・火で砂を炒る

五行で言う「火」のパワーを入れる作業と、砂の殺菌効果を加える為に5分程度砂を炒って、自然冷却させます。

7・カバーをかぶせて・・・完成！

カバーは汚れ防止の為に有る方が便利です。洗濯をする場合は、カバーだけ洗って下さい。
※砂袋本体のお手入れは天日干しで十分です

2・砂を水で良く洗う

布団の上に細かい砂がこぼれないようにする為に水を変えながら砂を洗います。泥水が気にならなくなるまで根気よく、10回以上は水を替えながら繰り返し洗います。

4・塩とゲルマニウム粉を加える

五行で言う「水(海塩)と金(ゲルマニウム)」を砂に加えて砂の力を更にアップさせます。五行の木(木綿布袋)と土(砂)は既に有りますので、あと残るは・・・火！

6・砂を布袋に詰める

1ブロックの重さが均等になるように秤で量った砂を布袋に詰め、ミシンで縫います。ミシンは砂がこぼれ出ないように二重縫いをしています。

因みに目元用の砂枕の

1ブロックの大きさは 8.0×12cm
1ブロックの砂の重さは 80g です
程良い重さと、程良く砂が動くのがポイントです！



サイズの違う5個組のセットで

¥13,000円(税込)

ご興味のある方はご連絡下さい
注文後の生産となります

砂枕のお手入れ方法は？

お手入れ方法は超簡単！

天気の良い日に**天日干し**をして下さい。

お日様の力で砂が吸った汗(毒素)が乾燥して、砂の力がリセットされます。故に・・・天日干しさえキチンとすれば砂は「半永久的」に使えます。

<砂枕の製作・販売>

北醍醐こじま施術院/小島宏和

HP は「こじまカイロ」で検索を

京都市伏見区醍醐古道町 10-9 Tel 090-8190-9530

メール(sj2@kojima-chiro.jp)宛にもお気軽にご質問下さい